



防災つじどう

発行 辻堂地区防災協議会
2023年(令和5年)3月
第32号
事務局 辻堂市民センター
TEL:0466-34-8661

巻頭言

辻堂地区防災協議会会長 小川 雄二郎



年が明けたと思うまもなく春となり、「防災つじどう」第32号をお届けします。

昨年には、令和元年以来3年ぶりに辻堂地区総合防災訓練を開催することが出来ました。またコロナに気を使いながらも様々な防災活動を徐々に再開出来るようになってまいりました。令和3年度に始めた黄色い「無事ですタオル」を使った安否確認訓練は、令和4年度も令和5年3月11日に実施いたしました。

令和5年度には要支援者の個別避難計画の策定に取り組んでまいります。そのためにまず必要なことは、私たち辻堂の一人ひとりが自分の避難計画を作ることです。災害が起きる前、災害の危険が高まった時、災害が発生した時、そして災害が起きた後の状況で何を準備し、何を行うかを考え、決めておくことです。その延長上に要支援者の個別の避難計画があると考えます。

辻堂の人々がまず自分自身の避難計画を策定することから始めたいと思います。

どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。

第29回辻堂地区 総合防災訓練

令和4年11月27日(日)八松小学校にて、関係機関のご協力のもと、総合防災訓練を開催しました。当日は晴天に恵まれ、総勢504名が参加しました。

今回はコロナ禍と雨天中止をはさんで3年ぶりの開催で、運営経験者が減少していることから、過去の例を参考にしながら6月から準備を進めて、開催にこぎつけることができました。

訓練は15ブースを準備して、関係機関がそれぞれ分担し、コロナ対策に配慮しながらグラウンドに分散して行いました。家具転倒防止ワークショップでは、チームレスキューの子どもたちが、今までの活動を生かして主体的に運営していました。訓練の流れは開会式が終ると、参加者は各訓練ブースを体験しながら回り、最後に消防の救助演技の披露で終了となりました。

普段経験できないことを体験できたこと、地域や関係機関の皆様と連携がとれたことで、防災力の向上につながったと思います。(記 松木 武美)



救助演技



家具転倒防止ワークショップ



車いす操作体験訓練



震度体験訓練

第10回 令和4年度辻堂地区防災講演会



『富士山はいつ噴火するのか?』

講師 萬年一剛氏 神奈川県温泉地学研究所 主任研究員
日時 令和5年2月25日(土) 10時~12時
会場 辻堂市民センター3階ホール(定員84名)
主催 辻堂地区防災協議会、辻堂まちづくり会議
辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会

講演内容として今後1年間の噴火確率は2.0%と低率ですが、次回の噴火は2330年頃までに噴火する予定。今年噴火しても全然おかしくない。噴火すると、被災範囲が広すぎて、全員の事前避難は、非現実的。また、溶岩流より降灰による水源地や道路網のリスク、そして健康障害や停電、移動リスクが予測される。

まとめとして電気だけに頼らない、キャンプ生活にも慣れる生活習慣が必要。食糧備蓄・車にはいつもガソリン満タン、そしてご近所、遠方の友人と仲良く！
(記 福田 正三)



右のQRコードから
当日の講演会動画を
ご覧いただけます。

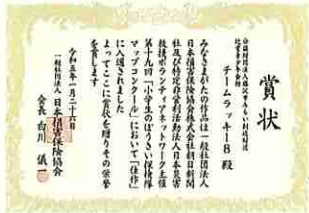


第5期チームレスキュー活動報告(続報)

チームレスキュー第5期生の活動について、前回「防災つじどう」第31号で報告分以降についてご報告致します。実はこの後、昨年8月~9月にかけてコロナが猛威を振るい8月27日予定の辻堂駅前近辺のまち歩き、9月10日~11日予定の辻堂青少年会館で初めての試みの〈一泊〉模擬避難所体験が予定通り開催できず、2回分を9月10日半日でやらざるを得なくなりました。メンバー全員が楽しみにしていただけに心残りとなりました。その後は順調にカリキュラムをこなし、全員が無事修了式を迎えることができました。



南消防署辻堂出張所 見学 (7月23日(土))



朗報 日本損保協会/朝日新聞社/日本災害救援ボランティアネットワーク主催の「小学生の防災探検隊マップコンクール」において「佳作」受賞の栄誉に輝きましたことをご報告させていただきます。

(記 池野 優幸)

第45回 公民館まつり 出展

令和4年10月29日(土)、30日(日)の両日にかけて3年ぶりに公民館まつりが新しくなった市民センターにて開催され、辻堂地区防災協議会も体育室の展示コーナーにて出展しました。

内容は〈事業計画・防災マップ・子ども防災手帳・総合防災訓練〉の案内および以前の総合防災訓練模様を展示しました。また、親子で楽しめる防災クイズ(2種類)に参加してもらい、防災意識を高めてもらいました。

当展示コーナーへの見学者は景品の効果もあり、2日間合計で646名でした。



(記 國弘 宏祐)



災害情報の収集方法を 確認しましょう!

基本は、ラジオ!レディオ湘南(83.1MHz)、NHK FM(81.9MHz)、そのほか、防災行政無線、メールマガジン、テレビ、インターネット、防災ラジオ、スマートフォンアプリなどあらゆる手段で行いましょう。

□ 防災行政無線が聞こえにくかったら
▶ テレドーム ☎ 0180-994-144
※放送終了後に電話で放送内容を確認できます。(令和5年6月末運用終了)

□ 防災ラジオ □ ツイッター



(記 事務局)